

事務局：佐賀医科大学整形外科

発行日 平成13年 1 月19日

〒849-8501 佐賀市鍋島 5 丁目 1 番 1 号

TEL 0952-34-2343 FAX 0952-34-2059

## 明けまして おめでとうございます



教授 佛淵 孝夫

新年あけましておめでとうございます。いよいよ21世紀が始まりました。「股関節だより」も満1歳となり、今後とも成長し続けたいと思います。今回は「クリニカルパス」、「身体障害者手帳」、「股関節だよりの送付状況」をとりあげてみました。簡単に触れてみたいと思います。また時間を経て2回の人工股関節手術を受けられた溝口広海様の力作など掲載させていただきました。ただし、リハビリの頑張り過ぎはお勧めしません。

### クリニカルパスについて

昨年の1年間を振り返りますと、私どもの佐賀医科大学病院整形外科では約270件の股関節の手術が行われました。股関節外科に関する学会発表、講演などは20数回に及びます。看護やリハビリに関しても幾つかの発表がありました。皆様もお気づきのことと思いますが、入院から退院までのリハビリや入院生活は計画表に沿って、行って参りました。最近これは「クリニカルパス」と呼ばれる新しい診療方法で、効率的で良い医療を目的に導入されたものです。佐賀医科大学整形外科では全国の大学病院としては、最もこのクリニカルパスの導入が進んでいる施設の一つとなっています。皆様にたびたびアンケート調査をさせていただいておりますが、その結果を踏まえて少しずつ変更しております。例えば手術直後に動けない、腰痛がある、早くトイレに行きたい、さらにもう少し入院していたかった、などのご要望に応えるべく、安全を確認しながら、クリニカルパスを変更しております。また化膿止めの点滴も術後2日間になっています。このように少しずつ

医療を受ける側、つまり皆様、患者さんにとって負担を少なく、満足できる医療を目指しております。

「安心して手術が受けられ、早期に社会復帰が出来ること」が私どもの大きな目標の一つです。医師、看護婦(士)、理学療法士、他職員一同のチーム医療でこれに当たっていきたく思っております。2001年版のクリニカルパス(患者様用)を掲載させていただきます。皆様の時と少し変わっていると思います。ご意見、ご指摘、ご批判、何でもお寄せいただければ幸いです。

### 身体障害者手帳について

手術を受ける前に5級あるいは4級を交付され、更生医療で手術を受けた方がほとんどだと思います。人工股関節の手術を受けられた皆様は、片方で4級、両方で3級の身体障害者の手帳が交付されます。この手帳の特典について解説していただきました。税金の控除、自動車税の減免などがあるようです。参考になれば幸いです。

### 「股関節だより」の送付状況について

股関節だよりの1号から4号は現在370名余りの皆様に定期的にお送りさせていただきました。地域別では佐賀市近郊から唐津、伊万里地区、福岡県をはじめとする九州・山口各県、さらには関東にもひろがりつつあります。

責任の重大さを実感しております。今後とも宜しくお願い申し上げますとともに、今年が皆様にとって良い年でありますことを心よりお祈り申し上げます。

# 身体障害者手帳 - 股関節疾患によるもの - について

浅見 豊子

股関節の手術を受けられる際には、すでに多くの方が身体障害者手帳（肢体不自由・下肢）を交付されています。例えば、片側の股関節に強い障害（股関節の力が非常に弱い、あるいは股関節の動きが非常に悪い）がありますと5級、これが両側ですと4級となります。また、片側の股関節の力が全く無い、あるいは股関節が全く動かない場合（人工股関節手術をした場合はこれと同等とみなされます。）は4級、これが両側ですと3級となります。この身体障害者手帳をもっておられると、身体障害者福祉法による様々な援助を受けることができます。ここでは、股関節の機能障害で3～6級までの等級をお持ちの場合にどのような援助が受けられるかの概略をご説明いたします。皆様の日常生活におけるミニ知識としてお役立て下さい。

## 1. 日常生活用具の給付・貸与

- <窓 口> 各市町村福祉担当課
- <内 容> 日常生活をより便利にするためのものである。世帯課税状況により費用一部負担がある。
- <給付種目>
  - 1) 入浴補助用具：条件 / 入浴介助を要する方
  - 2) 歩行支援用具：条件 / 家庭内の移動などに介助を要する方

## 2. 補装具の交付・修理

- <窓 口> 各市町村福祉担当課
- <内 容> 指定業者からの見積書や品目によっては医師の意見書が必要。世帯課税状況により費用一部負担がある。
- <品 目> 装具、車椅子、歩行器、歩行補助杖

## 3. 更生医療の給付

- <窓 口> 各市町村福祉担当課
- <内 容> 世帯課税状況により費用一部負担がある。
- <給付種目> 関節手術

## 4. 重度心身障害者医療助成

- <窓 口> 各市町村福祉（医療）担当課
- <内 容> 国民健康保険又は社会保険の加入者で、知能指数35以下の方が身体障害者手帳3級かつ知能指数36～50の方に病院医療費の自己負担分を助成する。所得制限がある。

## 5. 障害厚生年金

- <窓 口> 社会保険事務所

- <内 容> 障害厚生年金を障害基礎年金に加算して受給できる。
- <対象者> 厚生年金加入者かつ3級の方で、労働に著しい制限を受ける程度の障害を有する者。
- <年金額> 個人により異なる。

## 6. 自動車税等の減税

- <窓 口> 県税務課自動車税係
- <内 容> 身体障害者が自動車をもつばら本人の通院・通学・生業のために使用する場合に、自動車税・自動車取得税・軽自動車税が減税される。
- <対象者> 1～6級の身体障害者
- <対象車> 身体障害者が取得し、所有する自動車。知的障害者又は18歳未満の身体障害者の場合は生計を一にする方が取得、所有する自動車。

## 7. 有料道路通行料金の割引

- <窓 口> 市福祉事務所又は町村役場福祉担当課
- <手続き> 事前に窓口にて、割引証の交付と身体障害者手帳に押印を受け、料金所にて押印した手帳を提示し、割引証と料金を渡す。
- <対象者> 1～6級の身体障害者で、自ら運転する場合。
- <対象車> 身体障害者又はこれと生計を一にする者が所有する自動車。乗用自動車、貨物自動車又は特殊用途自動車に限る。営業車は除く。
- <割引率> 5割

## 8. 運賃の割引等

- (1) JR運賃
  - <窓 口> JR各駅の窓口
  - <手続き> 乗車券購入時に、身体障害者手帳を発売窓口へ提示する。
  - <対象者> 身体障害者単独で乗車の場合
  - <券 種> 普通乗車券
  - <割引率> 5割
  - <条 件> 片道100kmを超える利用のとき。
- (2) バス運賃
  - <窓 口> バスタクシー協会
  - <手続き> 降りるときに、身体障害者手帳を提示する。
  - <対象者> 身体障害者本人のみ
  - <割引率> 5割
  - <条 件> 片道100kmを超える利用のとき。

# 入院経過表について

石井 孝子

- (3) タクシー運賃
  - <窓 口> バスタクシー協会
  - <手続き> 降りるときに、身体障害者手帳を提示する。
  - <対象者> 身体障害者本人のみ
  - <割引率> メーター器表示額の10%割引。

- (4) 航空運賃
  - <窓 口> 各国内航空会社
  - <手続き> 事前に市福祉事務所又は町村役場福祉担当課で証明印の押印を受けた身体障害者手帳を、航空券販売窓口に表示する。
  - <対象者> 12歳以上で、4級以上の本人のみ
  - <割引率> 25%割引

- (5) 福祉タクシー券の給付
  - <窓 口> 市町村の福祉担当課
  - <内 容> 初乗り料金相当額のタクシー券を交付し、タクシー料金の一部を助成する。詳しい内容は市町村により異なる。
  - <対象者> 市町村により異なる。
  - <助成額> 市町村により異なる。

## 9. 税の障害者控除

- (1) 所得税
  - <窓 口> 税務署
  - <内 容> 障害者控除が、本人、配偶者、扶養家族が3～6級の身体障害者の場合受けられる。
  - <控除額> 27万円

- (2) 住民税
  - <窓 口> 市町村の税務担当課
  - <内 容> 障害者控除が、本人、配偶者、扶養家族が3～6級の身体障害者の場合受けられる。ただし、前年度合計所得金額が125万円以下の障害者に限る。
  - <控除額> 26万円

- (3) 相続税
  - <窓 口> 税務署
  - <内 容> 心身に障害がある者が、相続により財産を取得した場合。
  - <控除額> 当人が70歳になるまでの年数に6万円を乗じた額を相続税額より控除される。

新年（新世紀）を迎え、皆様各々に新たな決意を胸にされ、目標ができた方は、大ざっぱにしても綿密にしても、計画を立てられた事でしょう。計画というのは、間違い無く目標に到達するためには欠かせない物です。

例えば団体旅行に行く時だって、旅行会社から日程表が配られます。いくら案内人がいても、全く先の計画が知らされていない旅行は、きつととても不安だと思います。

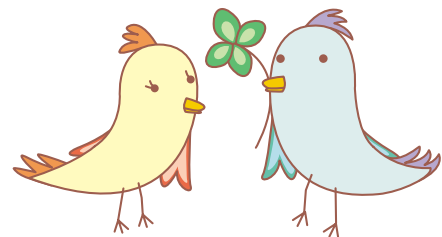
私達が使っている入院経過表も、旅行の時の日程表のようなもので、入院してから、手術を受け、退院までの計画をわかりやすく示したものです。入院中はベッドサイドに貼って孔があく程ながめていた方もおられるかと思います。入院中に自分の身に起こる事を知って、心の準備をしたり、目標にしてもらうためのものです。

昨年のなかば位から使い始めていますので、それ以前の患者さんにとっては、はじめてご覧になる方が多いと思います。以前は術後のリハビリ予定だけを簡単に書いたものでしたが、それに加えて手術前の計画や手術後の採血やレントゲンの予定なども入っています。

今年からその入院経過表を変更しましたので、新しくなった人工股関節置換術と寛骨臼回転骨切り術用の入院経過表をお示しします。巻頭に佛淵先生が書かれているように、先に行いましたアンケート調査の結果をもとにして、退院の時に自信と余裕を持って退院できるように、車椅子と歩行訓練の開始がこれまでより早くなり、その分たくさん訓練ができるようになっていきます。

ちなみに、この中の絵は、患者さんの江田千恵さん（イラストレーター志望）が描いてくださいました。

本年が皆様にとって良い年でありますように。





# 寛骨臼回転骨切り術を受けられる患者さんへ 入院経過表

横

日時 経過	入院	手術前日	手術前	手術後	1日	2日	4日	1週	2週	3週頃退院
安静	行動の制限はありません		ベット60° アップ可 足はマットにて挙上 医師・看護師で 横向きにします	ベット90° アップ可 	車椅子 	両松葉杖歩行 	片松葉杖歩行 	Tステッキ歩行 	自分で横向きになれます 退院に向けて以下の事を 練習します 	
訓練	手術に備えて以下の事を 練習します 車椅子 松葉杖 筋力訓練 寝返り お風呂の入り方 更衣 ベット上での排泄の仕方			筋力アップ訓練開始 (膝締め)					階段昇降 正座のしかた 	浴槽内出入り 靴下履き 
排泄		下剤を 飲みます	おしっこの管が 入ります	状態がよければ おしっこの管を抜きます		トイレに 行けます				
食事	常食 	夜より 絶飲食	状態により飲水 食事開始							
お薬			持続点滴 	抗生剤 点滴 (朝・夕) 		抗生剤飲み薬へ				
処置 検査	レントゲン 採血 	毛剃り 爪切り	手術前に 注射をします	レントゲン 	採血 	ガーゼ交換 (後は状態に応じて ガーゼ交換します) レントゲン 		抜糸 	レントゲン	レントゲン
清潔	お風呂 				体を拭きます 			お風呂開始 		



# 人工股関節置換術を受けられる患者さんへ

## 入院経過表

様

日時経過	入院	手術前日	手術前	手術後	1日	2日	3日	5日	1週	10日	2週	退院	3週
安静	行動の制限はありません 			ベット60° 足はマットにて挙上 医師・看護婦にて 横向きできます	ベット90° 		車イス 	歩行 (両松葉杖・歩行器) 		(片松葉) 	Tステッキ歩行 		
訓練	手術に備えて以下の事を 練習します 車椅子 松葉杖 筋力訓練 寝返り お風呂の入り方 更衣 ベット上での排泄の仕方   				筋力アップ訓練開始 (足挙げ・膝締め) 外開き運動 							退院に向けて以下の事を 練習します 階段昇降 正座のしかた 浴槽内出入り 靴下履き   	
排泄		下剤を 飲みます		おしっこの管が 入ります	状態がよければ おしっこの管を抜きます		トイレに 行けます						
食事	常食 	夜より 絶飲食		状態により飲水 食事開始									
お薬			持続点滴 		抗生剤 点滴 (朝・夕) 								
処置 検査	レントゲン 採血 	毛剃り 爪きり			ガーゼ交換 採血 			(後は状態に応じて ガーゼ交換します)				抜糸 	レントゲン 採血
清潔	お風呂 				体を拭きます 				レントゲン		レントゲン	お風呂開始 	

# 病棟風景

石井 孝子



佛淵先生は毎朝、昼、夕に回診されます。  
今まで足が上がりなかつた方も、佛淵先生の気合いでこの通り足があがります。  
医局員としては、佛淵先生の指揮棒のような指が、不思議でもあり、うらやましくもあり.....



昨日手術した患者さんのお見舞いをする術後1週と2週間目の患者さんです。  
さすが！ 先輩として余裕の表情です。



週2回は病棟総回診です。この時ばかりはちょっと緊張？ でもなさそうですね。  
冗談がとびかいながらの回診です。



看護婦さんと一緒に歩行訓練中です。  
佛淵先生が通りかかって杖を取り上げられ、おっかなびっくりしたこともあったでしょう。ひそかに(さんには負けてないかな)と対抗心を燃やしたこともあったのでは？



最近では手術を受けに行くのに、希望によっては、車椅子でいけるようになりました。

自分で手術台に上がるまでは、意識ははっきりしています。手術の何時間も前から『まな板の上の鯉』のように緊張していた今までのベッドでの搬入に比べて評判は良いようです。



H.Kさん(44歳)術後11日目です。

手術後2日目で杖なし歩行、1週間で階段昇降ができ、術後11日の超最短コースで退院されました。(入院期間:15日間)

夏休みは子供達でにぎわい、研修医の古川先生はからかわれてばかりでした。退院後の外来日には、みんなそろって待合室で同窓会です。





# 素晴らしい医療技術の発達

溝口 廣海 様

幼い頃から、自分は股関節が常人と比べて悪い事は百も承知していた。

昭和10年4月小学校に入学、ハコウが酷く某整形外科に入院治療、その時の様子を未だに覚えている。二階に寝て、階段から石を滑車で吊るし、10日位経過、次に手術。

その時の麻酔の様子は、固い寝台のうえに寝せ、顔に白いガーゼを覆いゆっくり数を数えなさいと言われた。その通り4まで数えた所まで覚えている。実際は7まで数えたそうだが、気がついたら脇から足首迄石膏で固めて、形は大の字で股関節から直角に曲げてあった。色々と治療を加え11年4月に2年生に直接入学、4年ぐらいいまできれいには歩けなかったのを記憶しておく。

時は流れ、昭和50年代(50歳代)になると日常生活での、股関節の動きが特に横開きと、股あげに違和感を感じずようになり、剣道等をしたあとには特に強く感じた。飲酒の翌日等には特に違う痛みが走るようになってきた。60年代にはいと階段の昇降や、トイレの跨ぎにも極端な不自由を感じた。

遂に昭和62年7月29日九大整形外科に入院、8月6日に手術。

麻酔の技術はどうだろうかとか、又石膏で硬められはしないかと案じた。しかし麻酔そのものも、10年代と比較すると格段以上の進歩(当然であるが)だった。手術それ自体も、科学技術と医療工学の融合とを旨く利用して完璧に近く施術をしていただいた。

この時点で右股関節の手術もしないかと、強く勧められたが強烈な強制外傷による恐怖心もあったし、若しかしたら現状維持または回復かもと淡い期待があったので断った。その後普通の勤務状態に付いた。しかし現実はその甘くはなかった。

また右股関節が痛みだし、椅子に掛けたり、正座をしたり、車の運転をしたりして同一の姿勢を長時間したあとで、歩き出す時の股関節周辺の痛みと、股関節の中心当たりの鈍痛・圧痛は名状しがたく余人の想像を許さないものである。最大悪くても九大に入院した程度の時間と、苦痛でよくなるならばと意を決して、平成12年6月30日佐賀医科大学付属病院整形外科に診療を受けた。その終了後入院の日、手術の日、退院の日の予定が組まれた。全く前回の比ではない。驚きであった。ファイトが湧いた。

7月6日佐賀医大整形に入院、精密な諸検査を受け、10日の説明会の日、使用する体内に挿入の医療器材の説明と手術の手順がなされた、前回と同じである。前回の写真と見比べると、今回のとは少し先細りのような感じを受けた。更に手術後の血液中に発生する血栓に付いて、万一の場合の体内拡散の結果の恐ろしい症状について説明と、その予防のため

の早期運動についての説明があった。前回は全く経験しなかった内容である。

純学問的な研究が手術の技術に活用され、患者に安心感を与えるように詳しく説明していただいた事で、全幅の信頼をおくことが出来た。安心して明日が迎えられる。

当日の麻酔少しも恐怖心が沸かなかった。尻の所が温かくなった時点で麻酔の完了帯に入ったようだ。後で直ぐ眠った。ゴトン、ゴトンという槌の音で目が醒めた。相当時間が経過していたはずだ。昼寝をしている間に手術が済んだと表現したほうが適切かも知れない。前回とは比べ物にならない程患者には負担が無かった。10年一寸の間にさらなる進歩と医療技術の進歩と、それを支える麻酔技術、細菌感染に対する予防等手術を助ける医療集団の技術研鑽の総合力の発露と思う。本当に医は仁術であると痛感した。

更に驚いた事には、術後の機能回復の計画とその実行であった。前回とは全く比べようもない。覚悟していた10日前後の固定も無く、直ちに日数に応じた機能回復の訓練であった。私自身も驚く回復ぶりである。術後の患者指導に対しての固定観念にとらわれることなく、斬新な発想の転換かもしれないと自分一人考えた。別ページに前回との比較表を記載しておきます。

術後21日目に退院、親類の人も近所の人も驚いていた。直ちに歩行訓練と筋力の増強のために、毎日訓練に励んでいます。50日目の今日、歩行距離は5～6km程度を目安にしています。

11月1日は51日目で、石井先生による第1回目の定期検診です。前回より40日早い。機能回復が早く成った原因は、医療機材の研究開発と、病理学上の研究結果からの総合判断で回復訓練が翌日から開始された結果ではないかと素人なりに考えています。

リハビリのための転院も考えていたけれど、全く触れられなかった。これも前回と著しく異なった点で、自宅での一月後の結果を前回の転院治療の結果と機能回復の内容を考えると、病状の種類にもよるうけれど、自宅で生活しながら機能回復訓練をした結果が断然勝っておる事を実感しています。同一姿勢を長時間していても直ちに歩行にうつれるようになりました。

最後になりましたが、直接手術をしてくださった佛淵先生、石井先生、サポートして下さった手術関係の先生方、麻酔関係の先生方、看護婦、看護師の方々本当に感謝申し上げます。有り難うございました。



## 2 . 手術後の経過比較

術後日数	九州大学医学部 整形科 付属病院	術後日数	佐賀医科大学 整形付属病院						
手術当日	昭和62, 08, 06 / AM06:30 錠剤2T服用 AM08:30移動、局部麻酔による 製材所で木材を製材しているような騒音 -、生汗、欠伸、頻発眠くなった、- 部屋に帰る時は気持ちがフワフワして歌い出したいような気分になった。大量の出血と関係が在るかも知れないと思う。12:30過ぎに部屋に帰ったようだ。	手術当日	平成12, 09, 06 - 麻酔開始しばらくして、尻のほうに電気毛布を当てたように温くなった。眠っていいよと言われ、直ぐ眠ったようだ。ゴトゴトと槌の音で目が醒め、間もなく終了、意識はハッキリしていたようだ。家族とも話すことが出来たようだ、前回のようにはきつくなかった。						
1日目	患部ベッドに固定、食事の時上半身起き常食 他の時間は、安静に努める。	1日目	食事は常食B・筋力アップ運動開始 足挙げ、ひざしめ 外開き運動						
4日目	ベッドで排便 - 苦痛、足は固定 筋肉に力を入れ足を動かすイメージ訓練と少し動かす訓練を開始した。	4日目	車椅子昇降開始、直ちに運転旨く出来た。トイレも一人で行けた、体重を少しかけると圧痛を感じた、身体のだらつき目眩等はなかった。						
7日目	昼間は固定解除、紐で足挙げの練習、夜は固定した。	7日目	理由不明なるも歩行器は使用しないで、直ちに松葉杖による歩行訓練開始、最初歩行バランスがとりにくかった、直ぐに慣れた、腕を振るように杖も動かした、総計距離300M位と推定						
12日目	ベッドに掴まり立つ訓練開始、足裏の感触が乾燥した水田の泥の上に立っているようだ。膝に力が入らず、バランスが取りにくく、頭がふらつき、目眩のように感じた。	12日目	前日の歩数2,824歩、過激だったのか、右足の関節、腿が痛くて良く眠れなかった、前日抜糸						
13日目	ベッド伝いに歩行訓練開始、周回運動	14日目	13日目の夜は、痛み止めを服用、ぐっすり眠れた。						
14日目	夜間の固定解除、本日より車椅子使用、トイレに自分で行ける事はすばらしい。 昼間は自己流の筋肉トレーニングを継続	14日目	体調極めて好し、歩数5,136歩、昼間は時間の許す限り、筋力アップに努めた。杖使用開始、距離によって松葉杖と杖を交互に使用した。						
20日目	待望の歩行訓練器がきた。補助を受けながらも自分の足で歩行出来る喜びは一入だ。 教授回診 - 順調な回復ぶりで喜んで貰った。	16日目	階段の昇降練習開始、調子を取りにくい、頑張った、膝が少し強張った。						
21日目	今朝の回診で来週あたりは退院になるから歩行訓練をどんどんするように指示があった。	20日目	明日はいよいよ、退院だ。心浮き浮きとはこの事が歩行、筋肉トレにも気合が入る。						
23日目	松葉杖使用開始、直ぐに慣れた、ひまをつくって歩き回った。	21日目	退院 10:30 事務手続き開始 11:40 帰着						
30日目	本日退院、この時点で、九大整形の前庭の築山の散歩が出来るように回復していた、9月30日	退院後のリハビリの概要 種類としては 歩行訓練 あおむき、横向きで両足の上下動 ゴムを利用した、膝開き ボールを利用した膝↗ 滑車利用の膝挙げ 蹲鋸屈伸運動での膝の筋力増強 上記の内容で訓練しています。 参考迄に退院後の記録の一部です。							
32日目	転院 9月1日～9月30日								
90日目	退院後、一回目の検診 接合した骨は包みこまれるようにして、よく結合しているとの説明だった。 人工関節を長く持たせるために、無理な外圧を掛けないように、出来るだけ長く杖を使用したのがよいとの指導助言を受けた。								
第1回目の時の手術の時の	31日目は転院 ← (リハビリのため)								
1回目の術後の90日目に該当 ←	51日目			この日は第一回目の定期検診日 石井先生による歩行は午前、1万歩目安で午後は自由計画 距離の合計は概略5～6km程度を目標					
				歩行	足上下	ゴム	ボール	膝挙げ	蹲鋸
		21日目	6,669歩	200回	30回	200回	30回	0回	
		25日目	8,667	200	30	200	30	0	
		30日	12,719	350	40	200	30	0	
		35日	13,576	200	50	250	0	10	
		40日	15,545	200	150	300	100	10	
		45日	14,765	300	200	300	100	20	
		50日	16,294	300	300	300	0	40	



平成12年12月より3カ月間、文部省内地研究員として佛淵教授のもとで股関節外科の勉強をさせていただいています。こちらに来てまだ日は浅いですが、毎日が新たな経験と驚きの連続です。

最も驚いたことの一つは、病棟の患者さんの元気の良さ・明るさと機能回復の早さです。佐賀医大では、人工股関節置換術を受けた患者さんも寛骨臼回転骨切り術を受けた患者さんも、ほぼ3週間で退院されていきます。私たちの大学では、術後3週といえば人工股関節手術では荷重歩行訓練が始まったところ、骨切り術ではやっと車椅子に乗りはじめる頃です。もちろん手術方法や治療方針の違いもあり、佛淵教授の手術だからこそ出来ることですが、患者

さんご自身の疾患・手術に対する前向きに取り組む姿勢も大きな要因だと思います。術前の患者さんに手術についてお聞きすると多くの方が、「手術が楽しみです。不安はありません。」「早く手術を受けて、痛みなく歩けるようになりたい。」と明るくおっしゃいます。術後の患者さんも術直後から皆さん元気で、安静度が上がるの心待ちにして機能訓練に積極的に取り組んでおられます。ここでは、患者さん自身もチーム医療の一員として、治療に参加していることがよくわかります。

3カ月間という短い期間ですが、股関節手術についてはもちろん、教授のおっしゃる「患者の立場に立った医療」への取り組みについてもより多くを吸収し、岐阜に戻ったとき少しでも患者さんに還元できるように頑張ります。病棟や外来で患者の皆さんに接する機会があると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

医局 倉崎 優子

股関節の外来には、毎回たくさんの患者さんがおみえになります。

特に最近では外来が混み、皆様には大変ご迷惑をおかけしていると思います。遠方から来ていただいている患者さんもうらっしゃいますので、今後何らかの対処策を考えてまいりたいと思っております。

この『股関節だより』は、主に佐賀医科大学で股関節の手術を受けられた患者さんを中心にお送りしています。また、中には患者さんから見せてもらっておもしろかったの、と送付を依頼された開業の先生などもいらっしゃいます。

今回、『股関節だより』の送付先を地域別に集計をとってみましたので、ご紹介いたします。

埼玉県	2名
千葉県	1名
兵庫県	1名
島根県	1名
広島県	1名
山口県	6名
徳島県	1名
香川県	1名
福岡県	52名
佐賀県	280名
長崎県	8名
熊本県	8名
宮崎県	5名
鹿児島県	4名

やはり、佐賀県が280名と一番多くなっています。佐賀県内の内訳も集計をとっていますので、ご紹介いたします。

佐賀市	70名	
伊万里市	20名	
鹿島市	19名	
唐津市	9名	
多久市	9名	
武雄市	11名	
鳥栖市	2名	
小城郡	芦刈町	3名
	牛津町	8名
	小城町	5名
	三日月町	5名
神埼郡	神埼町	9名
	脊振町	1名
	千代田町	5名
	三田川町	3名
杵島郡	三瀬村	3名
	有明町	3名
	大町町	2名
	北方町	7名
	江北町	2名
佐賀郡	白石町	9名
	福富町	4名
	川副町	12名
	久保田町	3名
	東与賀町	5名
	富士町	5名
西松浦郡	諸富町	3名
	大和町	7名
	有田町	2名
東松浦郡	西有田町	2名
	相知町	13名
	巖木町	4名
	玄海町	1名
	浜玉町	2名
藤津郡	肥前町	1名
	嬉野町	2名
	塩田町	3名
	太良町	5名
三養基郡	北茂安町	5名
	基山町	1名

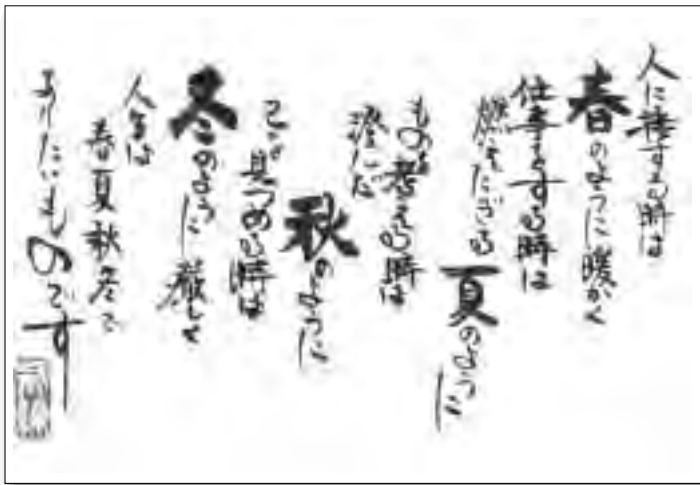
今後、県外からの患者さんもますます増えてくると思います。機会があれば、また、このようなご紹介もしていきたいと思っております。

# お葉書

ありがとう  
ございます



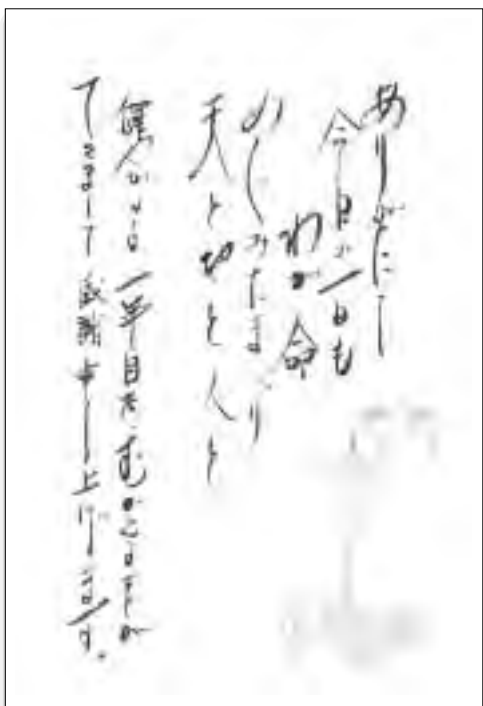
吉田 冬子さん



吉田 冬子さん



吉田 冬子さん



金子 明美さん

## 「身体障害者？」

## 「そっだんの「ジョー」」

Kさんは気づつぶの良い野性的な博多ごりよんさんで86歳であった。歌が上手で粹な小唄？をいつも口ずさんでいた。結論から言うと、Kさんは全く手の掛からない患者さんであったが、同時に手に負えない患者さんでもあった。

術前の説明をしようとする、「あたしゃ、手術しに来たんじゃから説明はいらん。どうせ聞いてもわからん。・・・」とそっぽを向いて鼻歌を歌っている。仕方ないのでご家族に説明することになる。患者さんへの十分な説明、つまり「インフォームドコンセント」どころではない。病室に帰ると、「早く良くなるのが楽しみだ。手術が待ち遠しい。」とおっしゃって、同室の患者さんが不安そうにしているのと冗談を言いながら、豪快に笑いとばしてしまふ。

手術当日も元氣そのもので、朝一番の手術が終わると昼過ぎには「腹が減った。まだ食べられんか？」といった調子で、夕食までまた例の歌を歌っている。同室の方々が「痛くないの？どうもないの？」と尋ねると「ちった傷のヒリヒリするばってん、どーもなか！・・・」さらに「こいでまた歩けると思えば、こげんうれしかことはなか！・・・」

早く歩きたいとのご希望から、当時としては早い十日目から歩行開始となりました。松葉杖は難しいため、最初は持参の手押し車での歩行となった。すぐに歩けるようになり、歌いながら歩いている。とりわけ方向転換が豪快であった。ハンマー投げの室伏選手顔負けで、手押し車をほうり投げるようにしてくると方向転換する。

退院が近づき、身体障害者手帳の話を始めると、怒り出した。「手術してもろうて、こげん歩けるようになったとに、身体障害者とは何事か！そっだんのごと！」「・・・失礼しました。」

身体障害者の手帳による様々な特典は私達国民の権利ですので、お近くの役所などでご相談ください。もちろん無理には言いません。

## 編集後記

皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年も、そして今世紀も『股関節だより』ともども、どうぞ宜しくお願いいたします。

昨年は、『股関節だより』の仕事を通じて、私も色々な方と知り合うことができ、大変実り多い一年でした。お電話やお手紙をくださったり、外来のたびにわざわざ会いに来てくださる方までおられて、本当に嬉しく思っております。ありがとうございます。

さて、新しい年になり心新たに頑張ろうと思っておりますが、今年の目標は『お料理の勉強をする』でしょうか。一応、花嫁修業の一環として何年前にお料理教室に通っていたこともありましたが、なかなかその腕前を発揮する場を与えてもらえず(?) やめてしまったという経歴の持ち主ですが、今年は発揮する場があるとなかろうと、ちょっと頑張ってみようと思っております。医局でリングをむくたびに、先生たちに「もう、見ちゃおれん！」と言われたりするのは、もう去年までにしたいですし、今年?歳になるので(厄年)遅ればせながら花嫁修行を再開しようと思います。

と言うわけで、どなたか、いいお料理教室をご存じでしたら、お手数ですがご一報ください。

お便り等宛先 〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1番1号

佐賀医科大学整形外科内 股関節だより編集局 倉崎まで

TEL: 0952-34-2343・FAX: 0952-34-2059